

# 2025年度（チアリーディング）部の指導方針について

2025年4月作成

## 1 指導体制

顧問 3名  
外部コーチ3名  
その他( )

## 2 年間目標

- 事故防止に努める、「安全に部活動を行う」という部員全員の意識を高くする
- 基本的な生活習慣・学校生活を大切にし、チーム全体で信頼関係を構築する
- 同学年の連携を強めるとともに、学年を超えたコミュニケーションをとることができるようとする
- USA Nationalsチーム進出、AチームIntermediate/BチームNovice優勝を目指す
- 「笑顔・やる気・行動」のスローガンを意識できるようしていサポートしていく

## 3 指導方針

- 基礎体力の向上、安全に対する意識を定着させる
- 校則遵守は基本とし、チアリーダーらしい明るく元気な挨拶・返事の励行、学業にも真摯に取り組ませる
- 技術力の向上や大会成績のみにとらわれることなく常に謙虚な姿勢を持ちつつも、チアリーダーとしての明るさや団結力、思いやりの心を育てること、部員間で会話する機会を大切にする
- チアリーディングの技術を高め、同世代のチアリーダーと交流・競うことを通して、チャレンジする力や強い精神力を身につける
- 最高学年とミーティングを重ねるとともに、部活動内の各学年の役割を明確化し部員が行動に移しやすくなる。

## 4 指導内容・方法

- 基本的なトレーニングを練習に取り入れていく。スタンツでの落下は大きな事故になりかねないので、必要に応じて声掛けするとともに、傷害発生時にはチーム内でのミーティング等を実施して、部員自身の安全に対する意識を向上させていく。基礎トレーニングに数値指標を用いて、伸びを意識させる。新技にチャレンジする際は安全の確保のための確認を怠らないようにする。
- 部活動の時間以外の行動も信頼関係の構築には必要不可欠であることを意識させる。
- 同輩、チーム内のプラス面、マイナス面の両方を共有し、喜びを分かち合ったり、ともに悩んだり、改善に向けての工夫を通して、部員間の絆が確かなものになるよう指導していく。
- また、自身の成長はチームの成長に繋がる事を意識させ、チームのためになにができるかという意識を常にもち行動できるよう指導していく。特に練習中は自分の考えや感覚を言葉にして伝えるように促す。
- 他校やチアリーディング経験者との交流機会を増やし、部員自身が能動的に積極的に活動できるよう促す。
- タンブリングの練習環境を整える。
- 部長・副部長・キャプテン、コーチとミーティングを重ねながら、質の高い練習計画を立て、部活動を運営していく。

## 5 主な年間計画

学期	月	活動内容
1 学期	4	クラブ紹介
	5	
	6	セレクション
	7	ひまわりコンサート
	8	usa 学生新人大会EAST2025
	9	文化祭
	10	セレクション
	11	
2 学期	12	
	1	Regionals2026
	2	
3 学期	3	Nationals2026 (Regionals2026で基準点を越えた場合)

合宿や遠征など宿泊を伴う活動については、必ず記載する。